

関連項目：教育活動プラン④

## 異学年交流の充実で、思いやりの心を育てる

### 目的

本校は各学年一学級の小規模校で、人間関係が固定化しやすくなっている。そこで、縦割り班を中心とした異学年交流を組み込むことで、児童が集団の一員としての連帯感や達成感を味わい、思いやりをもって他者とかがわる心情を育てる。

### 内容

#### ● ふれあい運動会（一年生とふれあう会）

1期の初めに、児童会役員主催のもと縦割り班ごとに分かれて、校内スタンプラリーを実施した。特別教室では「空き缶つみ」「宝探し」「風船割り」等を行い、体育館では「ハンカチ落とし」と「ボール運びレース」を行った。

班長を中心に上学年が下学年をリードし、どの班も楽しく活動することができた。新一年生も上級生から優しい声をかけられたり、校内を歩き回ったりしたことで、学校に慣れ親しむことができた。



#### ● フレンドタイム

毎週金曜日の朝の活動の時間に、縦割り班ごとに分かれて集団遊びを行った。活動場所は、運動場と体育館で1週間ごとで代わり、その場所に応じた遊びを班長が考えて遊んだ。どの班もけいどろや色おに、それにハンカチ落とし等、体を動かす遊びを中心に楽しむことができた。

上学年が下学年に遊びのルールを教えたり、励ましの言葉をかけたりするなど、相手を思いやる姿がみられ、回数を重ねるにつれて班の連帯感が高まった。



#### ● ありがとうカード

4月に縦割り班を編制し、縦割り班の紹介（メンバーの写真と自己紹介カード）の掲示物を廊下に展示した。

なかよし週間中に、縦割り班のペアの人に「ありがとうカード」を書き、その感謝の気持ちをペアの相手に言葉で伝えるとともに、カードを班の掲示物に貼り加えた。

廊下に「ありがとうカード」を掲示することで、全校生でそれぞれのよさを共有することができた。



#### ● 花の植え替え

縦割り班のペア学年で、プランターにサルビアの苗を植えた。

ペアの人と協力してサルビアの世話ができた。



#### ● ふれあい給食

縦割り班ごとに分かれて、全校生で給食を食べた。

班ごとに輪になり楽しく会食ができた。



### 成果

異学年での活動をたくさん組み込むことで、他者理解が深まり、思いやりをもって友だちとかがわる児童が増えた。特に、上学年が多くの場合でリーダーシップを発揮して下学年の世話をすることで、達成感を味わい自尊心が高まった。こうした経験を年度が替わっても下の学年が引き継ぐことで、望ましい人間関係を形成していきたい。